

認知症疾患医療連携研修会 開催報告

日時：令和4年10月7日（金）17：30～19：00

会場：北見赤十字病院 北館3階 大会議室

『認知症の病気について』

感染症対策のため、Web会議システムを活用し、ハイブリット形式の研修会を開催いたしました。オホーツク管内の医療・介護・福祉に従事する関係者44名に参加していただきました。

〈 講師 〉

北見赤十字病院 第一神経精神科部長兼精神保健対策推進室長
嶋田 進一郎 氏



今回の研修会は当院神経精神科嶋田部長より『認知症の病気について』というテーマで開催しました。実際の画像診断を用いたいくつかの症例から、認知症における高齢者の精神症状を細かく解説していただきました。また、本人が認知症の治療を拒否している場合は、生命に関わらない・自傷他害の危険がない・迷惑行為がないのであれば静観というお話もありました。治療に繋げることができず、困っている関係者も多くいることから、緊急性の低いケースは深入りせずに本人やご家族が困るまで待っていても良いということを理解していただけたのではないかと思います。

終了後のアンケートでは「わかりやすく症例を解説していたので勉強になった」「画像の見方や認知症の特徴など普段聞けないようなお話を拝聴できた」「いろいろな症例があり、認知症なのかうつ症状なのかの目安が少し理解できた」「認知症に似た症状の病気について知らないことが多かったので参考になった」「画像診断が必須であることが改めてわかった」等の多くの感想をいただきました。また「病院への相談を家族だけでなくスタッフからでも連絡出来ることを周知しようと思う」という声もあり、認知症疾患医療センターとして今後も関係機関と密に連携を図っていきたいと考えています。



今年度の認知症疾患医療連携研修会は残り2回の開催予定となっています。次回12月2日は当院酒井薬剤師による「認知症・せん妄の薬物療法」の研修会をハイブリット形式で開催いたします。関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）